

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名		科目コード	単位数	開講期
イノベーションファシリテーション特論2		Z 108	1 単位	2 学期
Innovation Facilitation 2				
科目分野		課程領域		
リーダーシップ		イノベーションマネジメント共通科目		
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー		
山本 恭彦	-	メールアポイントにて随時		

関連している科目(履修推奨科目)

イノベーション・ファシリテーション特論1	各種戦略・マーケティング系科目群	組織人事マネジメント要論、特論
チェンジマネジメント特論1、2		

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

本科目は、イノベーションを推進する上での鍵となる、(1)「未来情報から未来の変化点を発見し、未来シナリオを作成する力」と、(2)「未来シナリオから発想し、斬新な新事業アイデアを生み出す力」を身につける。最もエキサイティングなところは、この未来シナリオを使ったイノベーションを幅広いステークホルダーと共に推進するための、強力なファシリテーション手法を同時に学ぶところである。アイデアを生み出すと同時に、ステークホルダーとの協力関係を生み出す手法は、企業が新事業を生み出すうえでたいへん役立つ考え方になる。

本科目ではまず、未来の兆しを網羅的に探索し、その中から、インパクトが大きく不確実性の高いテーマを選び出し、「あり得る未来」の複数のシナリオを描く方法論を身につける。さらに、未来シナリオの短時間セッションのファシリテーションスキルを身につけ、自組織で未来シナリオ作成をリードできる力を身につける。

最終回の授業では、未来シナリオを集合知で描き、そこから新事業アイデアを生み出すための、公開フューチャーセッションを開催する。具体的なテーマを設定し、テーマに合ったゲスト招聘、学外の参加者の招待、ファシリテーションの実践を通して、実際にイノベーションを起こす活動を体験する。このような実践的活動を通して、インパクトのある新事業を自らの手で創造できる新たなリーダーシップを持つ人材を育てる。

到達(修得)目標

シナリオ・プランニングの方法論を理解し、状況に応じて使いこなせるようになること。
 組織やセクターを超えたフューチャーセッションを設計し、未来シナリオから新事業を生み出せる知識とファシリテーションスキルを体験的に学ぶこと。

受講対象者

経営戦略、IT戦略、商品戦略、マーケティング戦略、R&D戦略など、あらゆるイノベーションに関わる仕事をする、または仕事にしたい人。起業家として、社会を変えたいという志を持つ人にも、ぜひ受講してほしい。

履修上の注意事項やアドバイス

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー		Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	○
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力		X2: 構想	○
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力		X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力	○	X5: 変革	○
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力	○	X7: 評価・検証	
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

プラクティカム

イベント / ケース	教育技法	マテリアル / ツール
1 シナリオセッション体験	ワークショップ	
2 シナリオセッション設計	グループワーク	
3 シナリオセッション実施	ファシリテーション実践	

評価の方法		
(総合評価項目と割合)		評価の要点
出席	10%	毎回、事務室より出席簿を準備する。
プラクティカムシート	40%	プラクティカムシートでは授業の進捗に合わせ課題を出し、その内容を授業内にて
学習プロセス (クラスでの貢献度)	50%	確認し評価する。最終レポートの提出を求め、総合的に授業の理解度を確認する。
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	「シナリオ・プランニング―未来を描き、創造する」(英治出版) 著者:ウッディー・ウェイド 「イノベーション・ファシリテーター」(プレジデント) 著者:野村恭彦	
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	「イノベーション・ファシリテーター」(プレジデント) 著者:野村恭彦	
参考URL		

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	未来思考、シナリオプランニングの理解: シナリオ・プランニングの概念を理解し、イノベーションの新たな視点として「未来思考」を獲得する。	「シナリオ・プランニング」を読み、概要を理解してくる	野村	180分
	シナリオセッションの体験: 未来思考のシナリオセッションを具体的なテーマで実践することで、手法を体験的に理解する。			
	イベント シナリオセッション体験			
3.4	ファシリテーション演習(1): 未来思考で未来を描く 未来思考プロセスのイノベーション・ファシリテーションをチーム別で実践。未来思考プロセスとファシリテーションを体験的に学ぶ。	課題: 決められたテーマに関する「未来の兆し」を集めてくる	野村	180分
	シナリオセッション設計: チームごとに自由にテーマを設定し、どんな問いを立て、どんな未来シナリオから未来ビジネスを描くかを設計する。			
	イベント ファシリテーション演習			
5.6	ファシリテーション演習(2): 未来思考で未来を描く それぞれのテーマで、シナリオセッションをチーム別で実践。未来思考プロセスとファシリテーションを体験的にしっかりと落とし込む。	自由テーマで、チーム単位でのセッション設計(宿題)	野村	180分
	公開シナリオセッションに向けた準備: 最終日の公開セッションの分担を決め、最終的な擦り合わせを行う。			
	イベント ファシリテーション演習			
7.8	公開シナリオセッション:イノベーションの未来(仮テーマ) 当日は実際にファシリテーションを自分たちで行う。創造的な対話から、協調アクションが起きるアウトプットを出す。	テーマに関する未来の兆し調査、フューチャーセッション設計と社外参加者招待	野村	180分
	アウトプット作成(宿題) シナリオセッションのアウトプットをまとめて提出する。	課題: セッションのアウトプットを最終レポートとして作成し提出		
	イベント 公開フューチャーセッションのファシリテーション実践			

- ※ 講義日程は、学事ポータルでの講義日程表をご参照ください。
- ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。
- ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。